

巻頭言

様々な人々と共にあって、 自分らしく生きる力を育む

神戸松蔭女子学院大学 教育学部 谷川弘治

昨年度二つの講演会で、お話しする機会を得ることができました。一つは「九州大学病院 小児がんの子どもの教育を考える講演会」(2021年9月)、もう一つは名古屋市子ども青少年局子育て支援課主催の「小児慢性疾患児童等相互交流支援事業」の講演会(2022年3月)です。小児慢性疾患とつきあいながら歩んできた子どもたちと若者たち、家族、専門職が交流し合う場の重要性を再認識させられました。小児がんの病名説明が進んできていること、子どもから成人するまでを一貫してサポートするシステム作りが進んできていることなどを背景に、このような場が広がってきていることは喜ばしいことです。

私は、こうした機会に共有したいメッセージとして「様々な人々と共にあって、自分らしく生きる力を育む」を大切に伝えていきたいと考えています。詳細は病弱教育ウオッチにお示ししますが、会員のみなさまの現場感覚として、子どもたちや若者たちが、どのような歩みを進めようとしているのか、私たちにどのような問いかけがなされ、私たちはどのように答えようとしているのか、交流を深めていきたいと考えます。